



市営地下鉄新横浜駅に SDGs ロッカーを設置します！ ～市内初！コーヒー豆の取扱いを開始～

SDGs
未来都市
横浜



横浜市及びヨコハマ SDGs デザインセンター※では、SDGs 達成に向けた取組を推進しています。

このたび、市営地下鉄ブルーライン新横浜駅で、商品開発、製造などの過程で生じる、製品規格や生産数量上の理由から通常の商品として販売されず、これまで活用しきれていなかったコーヒー豆を、主な商品としてお得に購入できる SDGs ロッカーの運用を開始します。なお、コーヒー豆を取り扱うのは SDGs ロッカーにおいて初めての取組です。

この取組により、年間約 1.5 t の食品ロスの削減を見込んでおります。なお、SDGs ロッカーは市内で計 20 か所、市営地下鉄の駅では 7 か所目となり、合計で年間約 35 t の食品ロス削減を目指します。

※ 横浜市と民間事業者が共同で設立・運営する、SDGs の達成に向けて、横浜における環境・経済・社会的課題を解決するための中間支援組織

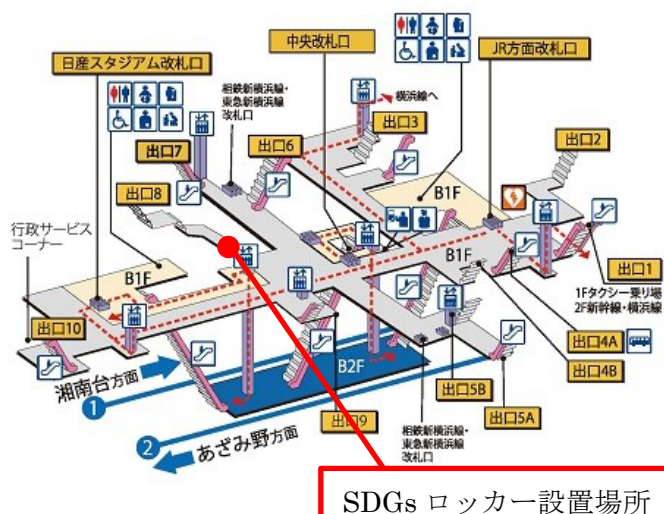
■市営地下鉄 新横浜駅（市内 20 か所目）

1 概要

開始日	令和 8 年 10 月 6 日(火)
場所	市営地下鉄 新横浜駅（横浜市港北区新横浜 2 丁目 100）出口 8 付近
食品販売者	アライドコーヒーロースターズ株式会社（横浜市都筑区佐江戸町 157 番）
搬入頻度	一週間に一回程度を想定
販売品目	コーヒー（豆、粉）等（約 10～30%OFF）※
ロッカー設置者	株式会社アルファロッカーシステム（本社：金沢区福浦 1 丁目 6 - 8）

※店舗の在庫状況等により販売がない場合や、今後、販売品等を変更する場合があります。

2 設置場所



裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



■横浜市内で設置済みのSDGsロッカー

1	市営地下鉄関内駅	11	京急線金沢文庫駅
2	横浜銀行アイスアリーナ	12	ランドマークプラザ
3	みなとみらい線馬車道駅	13	横浜ビジネスパーク
4	JR 根岸駅	14	市営地下鉄三ツ沢上町駅
5	シーサイドライン金沢八景駅	15	市営地下鉄吉野町駅
6	横浜市庁舎	16	市営地下鉄横浜駅
7	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	17	市営地下鉄中山駅
8	横浜シティ・エア・ターミナル（YCAT）	18	市営地下鉄中川駅
9	横浜ベイクォーター	19	横浜労災病院
10	済生会横浜市東部病院		

■参画事業者

○アライドコーヒーロースターズ株式会社



私たちが目指すコーヒーのサステナビリティでは、社会は1つの大きなテーマとなっています。持続可能な社会の実現に向け、コーヒー産地の社会、コーヒー製造の社会、コーヒー消費の社会に対し社会インパクトを重視し、いつまでも美味しいコーヒーが飲める実現と、コーヒーによって生まれる幸せの追求を行います。

<https://www.allied-coffee.co.jp/sustainability/>

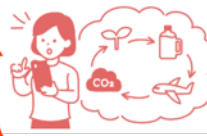
○株式会社アルファロッカーシステム



1964年に日本で初めてコインロッカーを製造・販売したロッカーのリーディングカンパニー。日々の暮らしの中でお荷物の一時預かりや商品の受け渡しのストレスや困りごとを解決し、人とモノが巡りやすい世界を目指してまいります。アルファグループは令和5年に創業100周年を迎えました。

<https://alpha-locker.com>

YOKOHAMA CIRCULAR LINK 「とりくむサーキュラー」



横浜市は、循環型都市への移行を目指して、6つの分野でサーキュラーエコノミーの取組「横浜サーキュラーリンク」を推進しています。本件は身近な取組から未来を変えていく「とりくむ」サーキュラーの取組の一部です。

サーキュラーリンクについてもっと知りたい方はこちら ▶ (横浜市中期計画2026-2029) P.73



お問合せ先	
(市営地下鉄設置場所について) 交通局資産活用課長 星野	Tel 045-671-3208
(SDGsロッカーの設置、SDGsについて) 脱炭素・GREEN×EXPO推進局循環型社会推進課 SDGs未来都市推進担当課長 瀧澤	Tel 045-671-3901
(横浜市内の食品ロス削減について) 資源循環局事業系廃棄物対策課 担当課長 金田	Tel 045-671-2558



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

